

禁忌・禁止

併用医療機器〔相互作用の項参照〕

- ・高圧酸素治療装置内での使用
- ・可燃性麻酔ガスおよび高濃度酸素雰囲気内での使用
- ・磁気共鳴画像診断装置(MRI装置)

【形状・構造及び原理等】**構成**

1 構成機器		備考
(1) 瞳孔撮影装置		ET-60-L2
1) 撮影装置本体	1	
2) ゴーグル	1	
(2) 瞳孔演算表示装置		ET-200-K
1) ノートパソコン	1	
2) 瞳孔演算ソフトウェア	1	
(3) 刺激装置		ET-200-S
1) 刺激ユニット	1	
2) 刺激力バー	1	
(4) HDモニター	選択	
(5) アイソレーション電源	1	
2 付属品		
1) 電源ケーブル	3	最大長: 3.1m
2) ヒューズ(2A)	4	
3) ACアダプター	1	最大長: 3.0m
4) ヘッドバンド	1	
5) HDモニタースタンド	選択	
6) パソコン接続ケーブル	1	最大長: 1.8m
7) HDモニター接続ケーブル	選択	最大長: 0.55m
8) ビデオ接続ケーブル	2	最大長: 1.5m

機器の分類

(1) 瞳孔撮影装置

電撃に対する保護の形式: クラスⅠ機器

電撃に対する保護の程度: B形装着部

(2) 瞳孔演算表示装置

電撃に対する保護の形式: クラスⅠ機器

(3) 刺激装置

電撃に対する保護の形式: クラスⅠ機器

電気的定格

(1) 瞳孔撮影装置

定格電圧、交流・直流の別: 交流 100V

周波数: 50 または 60Hz

電源入力: 30VA 以内

(2) 瞳孔演算表示装置

定格電圧、交流・直流の別: 交流 100V

周波数: 50 または 60Hz

電源入力: 200VA 以内

(3) 刺激装置

定格電圧、交流・直流の別: 交流 100V

周波数: 50 または 60Hz

電源入力: 30VA 以内

原理

本装置は、刺激装置により左右個別に発光するLED刺激光により対光反応にて変化した瞳孔径を赤外LED照明により眼球の瞳孔と虹彩紋理を明確に分離して2台のビデオカメラで撮影します。

撮影された眼球は、パソコンの画像処理により瞳孔面積および最大径を検出してその変化を時間軸でグラフ化すると共に計測演算して、数値データと共に表示します。

【使用目的又は効果】

1. 概要

本装置は、眼球の瞳孔を撮影し、各種刺激による瞳孔の縮瞳と散瞳変化を計測することにより、眼科領域における視神経疾患の検査を行います。

本装置は、左右の瞳孔を撮影する瞳孔撮影装置、瞳孔変化を数値演算表示するコンピュータおよびソフトウェア、左右の瞳孔に刺激を与える刺激装置、から構成されます。

データは、再読み込み出来るファイルの外、EXCEL変換対応ファイル及びPDFファイルで記録出来る。プリンタを接続することにより、グラフ、演算結果をプリントアウト出来ます。

また、神経眼科、脳神経科領域においては、自立神経機能の観察、検査が出来ます。

2. 使用目的

反射光に対する瞳孔の反応を記録します。